

山田貴子議員

ふくろい遠州の花火

問 来年度開催するよつであれば、警備などに従来よりも多くの人員を確保すべくでは。

答 コロナ禍においても、安全・安心に開催するため、具体的な感染対策などを含めた検討が必要である。人員の確保についても、民間の警備会社の活用も含め、実行委員会に参画している団体関係者の方々と検討していきたい。



ふくろい遠州の花火のポスター

コロナ禍における

学校給食

問 児童生徒の食欲が下がり気味で、残食率も少しずつ上がっている。健康面から見て対処法を伺う。

答 残食率ゼロを目指すため、定期的に残食率のデータを各学校に提供し、児童生徒の健康と安全を第一に、さらにきめ細やかな対応に努めたい。

令和3年度全国学力・学習状況調査結果

問 ICTを活用した学習状況はどうだったか。

答 小中学校とも全国平均よりも高い結果となった。今後も授業や家庭学習を通して、個々の状況に応じて学習を進められるアプリなど、ICTを効果的に活用し、児童生徒に必要な資質能力を育んでいきたい。



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。

村松和幸議員

クラウンメロン 振興のための支援は

問 クラウンメロンのブランド維持のために、産地である本市において支援できることはあるか。

答 市場が必要とする生産量を維持するためには、年間約30万ケース、組合員200名の確保が求められることから、袋井市クラウンメロン振興協議会の一員として、引き続き支援を行い、新規就農者の確保に努める。



クラウンメロン 100周年記念モニュメント

高齢者雇用の

新規開拓は

問 シルバー人材センターの現在の仕事内容は、草刈りや街路樹の剪定が9割以上である。これからは、さまざまな職種の新規開拓が必要ではないか。

答 現役時代に培った経験を生かせる業務の希望があるため、企業訪問によるPR活動を行い、新たな就業先の開拓に取り組むよう促したい。

竹村眞弓議員

加齢性難聴へのサポート対策

問 健康長寿の延伸のためには、高齢者への補聴器購入助成制度の創設が必要であると考えますが。

答 令和4年度に高齢者の生活と意識に関する調査で補聴器助成制度を含め、高齢者の日常生活に必要なサービスを把握し、フレイルや認知症予防に効果的な支援の在り方について研究していく。補聴器助成制度は、全国一律の基準で実施することが望ましく、東海市長会などを通じて国へも要望するとともに、袋井市も前向きに検討したい。

児童生徒の心の健康 問題への支援体制

問 児童生徒の心の健康問題に対する具体的な取り組みは。

答 担任、支援員などが複数の目で児童生徒を観察するとともに、悩みや不安を共有し、チームで対応している。さらに、スクールソーシャルワーカーや専門機関などの連携を図り、子どもたち一人一人に寄り添った対応に努める。



耳の構造 (出典：リサウンド)